

CNA Report Japan

Newsletter focused on
Collaborative conferencing

Conferencing News & Analysis-- Independent & Unbiased Perspective Since December, 1999

電話会議・テレビ会議・Web 会議専門ニュースレター Vol. 6. No. 16 2004 年 10 月 15 日号 毎月 15 日・月末発行

創刊 1999 年 12 月 8 日 発行/編集:橋本啓介 k@cna.jp Copyright 2004 Kay Office All rights reserved.

ニュースダイジェスト

■ポリコム、PVX と、会議ポータルWebOfficeバージョン7.0をリリース、WebOfficeは、Windows Messengerとの連携が可能



Polycom PVX

Polycom PVX

ポリコム(東京都港区)は、パソコン向けデスクトップビデオ会議システム ViaVideo II の後継版である「Polycom PVX」、そして会議の開始運営を容易にする会議ポータルである Polycom WebOffice7.0 をリリースした。

Polycom PVX は、既存の ViaVideoII からソフトウェアだけ切り出して製品化したもの。パソコンを IP テレビ会議端末として使用することができる。ポリコム日本法人によると、「今までの発想だと、PC会議はよくないというイメージがあったが、PVXでそのイメージは払拭できると思う。」とコメントしている。

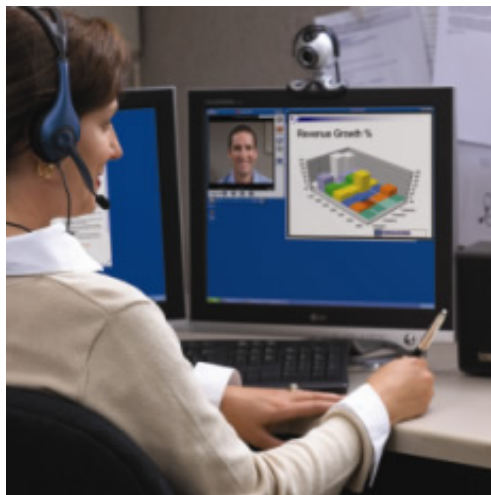
ソフトウェアコーデックとしては、Siren 14 による CD 並の音声クオリティ、フルデュプレックスで自動ゲインコントロールや自動ノイズリダクションをサポートし聞き取りやすい音声を実現した。映像については、最新のITU-T 標準である H.264 を実装、最大 768kbps で H.264 の映像の送受信が可能。また、最大で2Mbps までの帯域を、音声には、G.722.1 をサポート。

また、映像音声のエラー制御技術で柔軟にネットワーク状況に対応できる。AES 暗号化に対応し、セキュリティ

環境でのテレビ会議が行える。

ViaVideoII までは、専用のカメラが同梱されていたが、PVX では、今までの ViaVideo の専用カメラだけでなく、市販の USB カメラにも対応した。ユーザーインターフェイスは以前のバージョンとほぼ同じだが、H.264 や SIREN 14 の機能を利用するためには、市販の USB カメラ(Logicool の Qcam4000 など、推奨カメラはメーカーに確認要)を使用する必要がある。

さらに、PVX は、ViewOnly モードに対応し、カメラがない場合相手画像閲覧のみにも使える。



市販の Web カメラを使っの Polycom PVX

データ会議については、VSX に実装されているデータ共有機能である People+Content をサポート。たとえば、VSX8000 シリーズなどと PVX によるデータ共有会議が行える。(XGA のデータをリアルタイムで共有でき、コンテンツの部分にも暗号をかけることが可能。)

そのほかでは、(1)API に対応しているため、PVX の GUI インターフェイスのカスタマイズを行うことができる。(2)GMS(グローバル・マネージメント・システム)での一元管理が行えるためリモートで PVX の設定が可能。(3)他の H.323 端末へのコールの転送、保留など。(4)シスコの CallManager との ECS による統合。(5) DiffServ、IP Precedence のサポート。などが特長としてある。

ちなみに、ViaVideo ユーザーは、PVXのアップグレード

は無償で行える予定。また、現在米ポリコム本社ウェブサイトで、米国、カナダ在住者のみが利用できるオンラインショップにてPVXトライアル版がダウンロードできる。日本からもダウンロードはできるが、サポートは英語のみとなる。

WebOffice バージョン 7.0

また、今回のPVXの発表と同時に、WebOffice のバージョン 7.0 も発表した。WebOffice とは、テレビ会議、音声会議、データ会議などを容易に簡単な操作で行える仕組みを提供する会議ポータル。1対1、1対複数、複数対複数での会議、IP、ISDN、通常の電話回線などを混在させた、たとえば、テレビ会議とウェブ会議を連動した多地点会議(MGC 多地点接続装置などと連動)などが行える。


今回のバージョン 7.0 からユーザーインターフェイスが日本語などの2バイト文字に対応。また、PVXのエンジンが搭載されているため、WebOffice にエンドポイント機能が内蔵され、IPのテレビ会議コールを直接送受信することが可能となっている。ポリコムとしてはマイクロソフトに、Siren14 のライセンスを行っているが、最近マイクロソフトとの提携をポリコムが行ったその提携の成果物の第一弾として、Windows Messenger との連携が可能になった。ポリコム端末と Windows Messenger 端末のプレゼンス機能等が提供される。たとえば Windows Messenger のプレゼンス表示でポリコム端末のオンライン状況が確認できる。

ただ、両社端末が混在で会議を行うには、ポリコムのMGC が SIP に対応する必要があり、今後対応後混在の会議が可能になるようだ。MGC の SIP 対応実装については、米国本社が 10 月 11 日発表しているため時期は近いと思われる。(ショートニュースに関連掲載)

会議を開催する際は、パソコンにインストールされている WebOffice マネージャーの画面から会議参加者を選択し、会議開催のオファーを出すことにより会議が始められる。そして、WebOffice マネージャーにより、各端末が現在オンライン状況なのかどうか分かり、また、今回 7.0 から搭載になった会議オルガナイザー機能により、登録されているメンバー以外でも以前のバージョンの WebOffice よりもより簡単に会議に参加させることができ

るようになった。メンバー以外とは、WebOffice やポリコムの会議端末を導入していないユーザーと会議を開くことができるということで、そのメンバー以外の参加者は、ウェブ会議にて会議に参加する。ウェブ会議では、資料共有・アプリケーション共有、投票・アンケートを実施可能、ドキュメントを暗号化する機能や SSL 対応をはじめ、会議パスワード・会議ロック機能なども提供されている。

-----<AD>-----



ここまで出来る！今注目の
ビジネス向け Web 会議
(CUSeeMe の進化版)

ファーストバーチャルコミュニケーションズ株式会社

<http://www.fvc.com>

ショートニュース

- ◆丸紅テレコム(東京都港区)は、トーマンサイバービジネスが開発する H.323 対応 IP ネットワーク多地点ビデオ会議システム「Visual Nexus」の販売代理店となった。丸紅テレコムは、現在ウェブ会議システムの「Cisco MeetingPlace」、パイオニアの「サイバーカンファレンス」など会議ツールの製品ラインナップを強化しさまざまな会議ニーズに対応する。
- ◆日本テレコム(東京都中央区)は、同社が提供するネットワークコラボレーションサービス「Synchronet (シンクロネット) Web コラボレーション」において、機能拡張を行った。(1)1会議室あたりの参加者人数の拡大、1会議室あたり、最大 13 人まで参加可能だが、オブザーバー機能を追加することで最大 100 人まで参加可能、(2)画面拡大機能の追加、会議参加者の画面を拡大することが可能、(3)会議画面のインターフェイス改善、2 人会議、4 人会議用の画面を新たに追加。
- ◆日本ユニシス情報システム(東京都江東区)、三井物産(東京都千代田区)、ブイキューブブロードコミュニケーション(東京都目黒区)は共同で、動画、音声、文字情報などを共有しながら多拠点間でコミュニケーションが行える ASP サービス「ビジュアル・コミュニケーター・サービス」を 10 月中旬から開始。基本機能としては、ストリーミング、音声、チャット(文字会話)、資料共有、メッセージ機能などがあり、センター型 ASP タイプと、サイト型 ASP タイプがある。最大

10拠点までの会議が行えるコミュニケーションサービス、多人数でのプレゼンテーション時に利用できるプレゼンテーションサービス、遠隔拠点への商品説明などに活用できる商品説明支援サービス、複数の遠隔地を集中的に監視できる防犯監視サービスなどがある。

◆ NTT レゾナント(東京都千代田区)、NTT コミュニケーションズ(東京都千代田区)、NTT ドコモ(東京都千代田区)は、今年10月5日からパソコンとFOMA間で簡単にテレビ電話ができる映像コミュニケーションサービスのトライアルを開始した。今回のトライアルは、NTT グループが推進するレゾナント構想のもと、モバイル通信と固定通信を融合したサービスの商用化に向けて取り組み、中小企業、SOHO における映像コミュニケーションの市場性、事業性の検証を行う。トライアル期間は、今年10月5日から12月末までを予定。



IP電話とFOMA テレビ電話のデモ(CEATEC,NTT ブース)

◆NTT ドコモ(東京都千代田区)および NTT ドコモグループ 8 社は、10月および11月の2ヶ月間テレビ電話での通話料を各月最大500円(合計最大1000円)まで無料としテレビ電話サービスの利用促進を図る。また、2004年10月1日から2005年3月31日までの期間に新規にFOMAを契約したユーザーに対しても契約当月と翌月について上記同金額を無料とする。

◆JENS(東京都港区)は、同社が2004年4月から提供している「JENS Web コラボレーションサービス」において顧客サポートを提供する企業等の利用形態に適したサービスを提供してきたが、9月より会議開催や遠隔トレーニング、プレゼンテーション等の業務に適したサービスを追加提供することになった。同社では、ナムザック・ジャパン(東京都千代田区)が開発するPC会議システム

WebArrow をエンジンとしてサービスを提供している。

◆クレオ(東京都港区)は、PC会議システム「FACE Conference」の新バージョンを10月1日より販売開始。今回追加された新機能としては、会議参加者の画像を拡大する機能、ホワイトボード画面を拡大する機能、オブザーバー機能(最大103人まで会議に参加、傍聴できる)、2人会議、4人会議用の会議画面インターフェイス、タスクトレイに常駐する機能が追加される。

◆NTTデータ(東京都江東区)は、ブロードバンドとテレビ電話を利用した「リモートコンサルティングサービス」を開発し、10月18日から来年3月末までりそな銀行が新規出店する新浦安出張所や東青梅支店青梅プラザ出張所にて共同実験を行う。りそな銀行としては、軽量化店舗における相談業務サービスとしての位置づけで提供を行い、フィナンシャルプランナーによるライフプランシュミレーション、りそな銀行ホームページ、パンフレットなどを利用した商品説明などを提供する。テレビ電話やアプリケーション共有機能には、NTTレゾナント(東京都千代田区)が開発した高品位映像コミュニケーションサービス「WarpVision」を利用、ライフプランシュミレーションソフトには、NTT イフ(東京都江東区)が開発したライフプランシュミレーションソフトを採用した。

◆ふらら、ニフティ、WAKWAK、BIGLOBEの4インターネット接続サービスは、NTT 東西が販売するIPテレビ電話機



器「フレッツフォンVP1000」に対応したIP電話サービスを9月1日から開始した。「フレッツ

フォンVP1000(写真上:CEATEC会場で撮影)」は、4社のIP電話サービスか、FLET'S.Net ナンバーを契約することにより使用できる。

◆ウェブ会議システムを開発する米 Centra 社の創業者 Leon Navickas 氏が、最高戦略責任者(CSO)の職を辞し、

Centra 社のシニアマネージメントの実質的な経営から手を引くことになるが、取締役会会長職と会社顧問職にとどまる。同氏は、Centra を 1995 年に設立し、8 年間 CEO をつとめてきた。その間 Centra 社の株式公開 (IPO) を行い、市場でのリーダー企業へと成長させた。日本では、マクニカネットワークス (神奈川県横浜市) が販売代理店。

◆イスラエルのテレビ会議メーカー VCON 社は、パソコン向けデスクトップテレビ会議用ソフトウェア「vPoint HD」の 30 日間フリートライアルダウンロードを開始。vPoint は、H.264 に対応。H.263 では、1.5Mbps までの帯域をサポートしている。

◆ウェブ会議サービスを提供する米 WebEx 社は、米 NCR 社が持つデータ共有関係の特許の権利を取得した。データ共有時のアノテーション関係、イメージの書き込みなど 5 特許。しかし、その他の関連の特許については、WebEx 社がライセンスを得るという形で両者合意。

◆米投資会社 Gore Technologies 社が、米の多地点接続サービス会社 V-SPAN 社を買収し、Gore Technologies 社系のテレビ会議端末販売などを行う米 WireOne 社と合併させることになった。Gore Technologies 社は、現在 IT 系 14 社に投資を行っており、WireOne 社はその一社。また、WireOne 社は、現在 IP テレビ会議サービスを提供する米 GlowPoint 社と袂を分かった経緯がある。(関連記事:CNAリポート・ジャパン Vol.5 No.16 2003 年 9 月 30 日)

◆米ポリコムは、同社が販売する MGC(多地点接続装置)ユニファイド・カンファレンシング・プラットフォームにおいて SIP をサポートすることを発表。ユーザーはこれにより、MGC 環境で、一つの会議セッションで ISDN、H.323、あるいは SIP が混在した会議が行える。

◆10 月 5 日から 9 日まで幕張メッセで開催された CEATEC 会場では、会議関連としては以下のものが展示されていた。NTT ブースで最近発表された IP テレビ電話「フレッツフォン」の展示、IP 電話と FOMA テレビ電話の通信デモ、ドコモブースでは、FOMA テレビ電話のお試し、HATS 推進会議のブースでは、ソニーや NEC のテレビ会議システム、パソコン向けの会議システムでは、日立ハイブリットネットワークなどが展示されていた。



NEC MediaPoint、VoicePoint 等



NTT ブース IPテレビ電話-FOMAテレビ電話



HATS 推進会議

イベントレポート

TV会議フォーラム

(IPテレフォニーソリューション・フォーラム)

会期 : 10 月 13(水) - 14 日(木)

場所 : 目黒雅叙園

主催 : 日経 BP セミナー事業センター

詳細 : <http://ac.nikkeibp.co.jp/ncc/tv/>

日経BP社主催のテレビ会議フォーラムが、10月13日、14日と都内目黒雅叙園にて開催された。

今回のテレビ会議フォーラムでは、13日、14日の2日間、出展者によるセミナーセッションと、展示が行われた。

CNAリポート・ジャパンの編集長橋本は、13日のみ参加したが、セミナーセッションは満員で展示会場も常に人の入りがあり盛況であった。

出展社の中では、日経BP社などの大手がようやく本腰を入れたと賞賛する声を多く聞いた。やはり、大手が動くと業界の認知度も大きく高まるとの認識があるからだ。



満員のセミナーセッション

セミナーセッションでは、まず13日の基調講演を野村総合研究所情報通信コンサルティング 2 部 部長上席コンサルタント桑津 浩太郎氏が、「TV会議市場の現状と今後の動向」と題して講演し、その後、各出展社の講演が続いた。

出展社は、12社で、ウェブエックス・コミュニケーションズ・ジャパン、ソニーマーケティング、トーマンサイバービジネス、NTT アイティ、TANDBERG、丸紅テレコム、大塚商会／ポリコム、JENS、ゼッタテクノロジー、NTT アドバンステクノロジー、UCM (United Communication Media Corporation)。

取材のつもりで行ったが、取材よりも立ち話を中心となった。まだまだ記事にはできないが、各社いろいろと考えているところがあり、今後今年後半から来年頭以降にかけていろいろな動きがあるかもしれない。その際にはこのCNAリポート・ジャパンにてレポートしていきたい。

ところで今回の展示会では、まずTANDBERGブースでは、新製品のロールアウトタイプの Maestro、NTT-IT では、MeetingPlaza 電網会議室サービス、ポリコムでは、PVX や VSX3000、ソニーでは、最近販売開始の

PCS-G70N、PCS-TL50、トーマンサイバービジネスは、Visual Nexus、丸紅テレコムでは、Cisco MeetingPlace やサイバーカンファレンス、WebEx は、Web 会議サービスの Meeting Center など、ネットワークシステムズ／ファースト・バーチャル・コミュニケーションズの Click to Meet 4.0 のなども IPテレフォニー関連で展示していた。

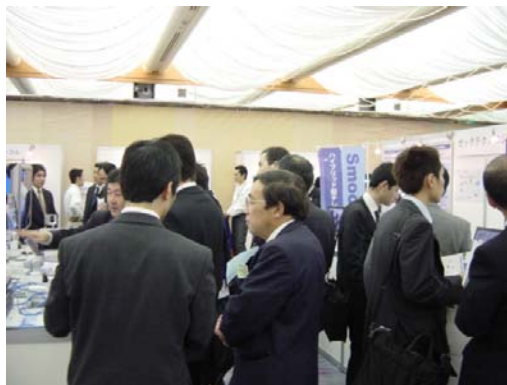
その他では、JENS Web コラボレーションサービス (WebArrow)、ゼッタテクノロジーの SmoothCom などが展示されていた。



TANDBERG ブース (Maestro と記念撮影の編集長)



NTT-IT (右手)、ポリコム



ソニー (左手)、ゼッタテクノロジー (右手)



トーマンサイバービジネス



丸紅テレコム



WebEx ブース

イベント情報

国内

▶インプレスインターネット生活研究所技術フォーラム (1)「新画像圧縮標準『H.264/AVC』技術の全体像」

日時: 2004年10月26日(火曜日) 午後1時~5時

場所: ARK 森ビル内「アカデミーヒルズ」(東京)

講師: 早稲田大学大学院客員教授 大久保榮氏

ソニー株式会社 佐藤数史氏

株式会社東芝 菊池義浩氏

VTV ジャパン株式会社 栢野 正典氏

受講料: 30,000円(税込)

詳細: <http://internet.impress.co.jp/iil/seminar/index.htm>

▶第2回 MeetingPlaza セミナー

会期: 10月29日(金)13:30~16:30(受付 13:00より)

場所: 横浜ランドマークタワー 25F(オフィスフロア)

大会議室[2501]

主催: NTT アイティ株式会社

*NTT アイティの MeetingPlaza の紹介とデモ

詳細: <http://www.meetingplaza.com/seminar/>

海外

▶PT/EXPO COMM China 2004

日時: 2003年10月26日(火)~30日(土)

会場: 中国国際展示センター

主催: E.J. Krause & Associates, Inc.

*Telecom 関連の展示会

詳細: <http://www.expocomm.com/ptechina/index.html>

▶Telecom India 2004

日時: 2003年10月25日(水)~28日(金)

会場: インド ムンバイ Bandra-Kurla MMRDA Complex

主催: India Tech Foundation

*Telecom 関連の展示会

詳細: <http://www.telecomindia.com/visitors.htm>

編集後記

10月14日から18日にかけてベトナム ハノイに行ってきましたが、ベトナムレポートは、次号10月30日号か、11月15日号にて掲載する予定です。ベトナムは、まだまだテレビ会議の利用は少数派的ですが、来年 WTO 加盟に併せて、企業数の増加、ビジネス環境の整備などを政府が中心になり行っていくようですので、今後ビジネスボリュームが拡大し、流れが加速化すると、会議関係の需要の伸びが期待できると思われています。

ところで、CNAレポート・ジャパンでは、dte-forum メールマガジンを運営していますが、11月19日に都内で午後3時頃から勉強会および懇親会を予定しております。ご希望の方はお手数ですが、下記メールアドレスまでご連絡いただければ幸いです。詳細をご連絡いたします。

CNA リポート・ジャパン

編集長 橋本 啓介 k@cna.jp (CNA Report Vol.6.

No.16 2004年10月15日号終わり)次号 Vol.6. No.17

は、2004年11月1日の発行を予定しております。ありがとうございます。